

ID No.	2059
研究課題名	膵管内乳頭粘液性腫瘍の癌幹細胞マーカーの探索とその治療応用
研究代表者	立石 敬介 （東京大学・講師）
研究組織	
受入教員	平田 喜裕 （東京大学医科学研究所・准教授）
研究分担者	加藤 裕之 （東京大学・特任臨床医） 山下 綾 （東京大学・大学院生）
研究報告書	
膵癌発生におけるエピゲノム修飾の役割についてG9aノックアウトマウスを用いて検討し、G9aがMAPキナーゼ経路とDCLK1陽性幹細胞を標的として発癌を促進することを明らかにした（成果論文1）。また膵癌検体より作成したオルガノイドの解析により、膵管内乳頭粘液性腫瘍由来の膵癌における特徴的な病理所見、遺伝子変異、そして遺伝子発現セットを解明し、エピジェネティックな変化によるMNX1-HNF1B依存性の遺伝子発現がこのタイプの膵癌で特に亢進していることを明らかにした（成果論文2）。現在オルガノイドからFCMによってソートした幹細胞分画の移植および薬効実験を行っている。	